

平成25年度 二松學舎大学 東アジア学術総合研究所
共同研究プロジェクト シンポジウム

表象される東アジアの学芸文化

— 16世紀以前、『論語』『文選』を中心として —

十六世紀以前における『論語』『文選』
を対象として、東アジア世界の共通
テキストはどのように読まれ、解釈
され、流転したのかを、学内外の
研究者による報告をもとに討議する。

12月1日(日)

13:00~17:00

二松學舎大学 九段校舎
1号館 202教室



【プログラム】

中国文学史における『文選』

牧角 悦子 (本学文学部中国文学科)

中国思想史における『論語』

田中 正樹 (本学文学部中国文学科)

質疑応答：コメンテーター

町 泉寿郎 (本学文学部中国文学科)

(休憩)

奈良・平安期の『論語』『文選』の受容

蔵中 しのぶ (大東文化大学外国語学部日本語学科)

王朝貴族と『論語』『文選』

五月女 肇志 (本学文学部国文学科)

質疑応答：コメンテーター

河野 貴美子 (早稲田大学文学学術院)

入場無料

【問合先】

二松學舎大学 東アジア学術総合研究所
〒102-8336

東京都千代田区三番町6-16

電話：03-3261-1354

(9:30~16:00)

<http://www.nishogakusha-u.ac.jp/>